

## \* 太陽塔望遠鏡のタヌキのウンチ

2010 年 4 月に太陽塔望遠鏡の電気が回復して、それまでタヌキの住処と化していた太陽塔望遠鏡棟は筆者が立ち入るようになりタヌキは住みにくくなったようである。太陽塔望遠鏡は昭和 41 年 (1966 年) 頃には観測の役目を岡山天体物理観測に建設された 65cm 太陽クーデ望遠鏡に譲り長い眠りについていた。

アーカイブの仕事をした筆者が、その太陽塔望遠鏡棟の整備に乗り出した。電気が入っていない半地下の分光室が荒れ放題に荒れ、手をつけられない状態で、まずは掃除屋を入れて大まかな掃除をしてもらおうとしたが、掃除屋の手に負えない、建物の解体屋に頼んでくれと言われるほどひどい状態だったのである。

床のあちこちはタヌキの糞で埋まりひどい臭いを放っていた。筆者は動物でトイレが決まっているのは人間と豚とタヌキだと認識していた。事実、痴呆に陥った人を除けばよほどの不届きもの以外の人間はトイレで用をたす、豚さんも小屋の一角をトイレに決めてウンチは一か所にすることを知っている。筆者の生まれ育った家では牛、ヤギ、羊、ウサギなどを飼っていたが、そのどれもがウンチの上にねっ転がり、体にウンチをつけていた。

野生のタヌキの生態を研究したことはないが、動物園で見るタヌキは、その舎のある場所をウンチの場所にしているように見えた (写真 2)。しかし、太陽塔望遠鏡に巣くったタヌキはやたら便所が多かったように思う。写真 1 が掃除前のタヌキのウンチまみれの太陽塔望遠鏡棟の中である。



写真 1 太陽塔望遠鏡棟内のタヌキのウンチ

写真 2 が、井の頭文化園の動物園のタヌキである。この写真ではタヌキのトイレは判然としないが、確かに 1 か所にウンチがあったと思う。

写真 3 が太陽塔望遠鏡棟の整備を始めた頃、通風口の奥にいた狸を撮った写真であり、タヌキが住んでいた証拠写真である。



写真2 井の頭文化園動物園のタヌキ



写真3 太陽塔望遠鏡の通風口の中のタヌキ

太陽塔望遠鏡棟の整備が進み、電気が回復し、非常塔が常時点いている状態になってほとんどタヌキのいる形跡は見えなかったが、足跡は(写真4)何度か確認することが出来た。この足跡は明らかに自然換気機構の通風口に向かっていた。真っ暗でなくなった半地下の分光室にもまだタヌキが出入りしている証拠写真である。タヌキも分光室でウンチをしなければ大歓迎なのである。筆者がいる時に現れてほしいとさえ思っているのである。足跡でまだ出入りしている証拠をつかんでから何日かして、こんどは通風口のホンの少し入っ

たところでウンチを発見したのである。



写真4 タヌキの足跡



写真5 タヌキのウンチ(2011年5月28日)

写真5のタヌキのウンチに出会ったのは2011年5月28日であった。まだタヌキが出入りしている明らかな証拠を見つけて、なんとなくほっとしている。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)